

ING Information Network Group vol.15 2018 Spring

リーダーの肖像

「治してくれてありがとう」という一言のために。
吉田寛氏

日本医科大学
多摩永山病院 院長

There are a lot of trials
in a life.



When getting over difficulties,
the colorful world is waiting for you.

輝き
interview

時代の0.5歩先を見据えて人に伝えたい。
TBS アナウンサー **皆川 玲奈** さん

Pick up
interview

山に抱かれ、川とともに生きてきた、日本で唯一の「飛び地」の村。
和歌山県東牟婁郡北山村長 **山口 賢二** 氏

企業
探訪

「オンリーワンの思想」ただひとつ、という
価値を求めて 株式会社ヤマダ・エスバイエルホーム kobori 研築工房

- 02 リーダーの肖像
日本医科大学多摩永山病院 院長 吉田 寛 氏
「治してくれてありがとう」と一言のために。
- 08 輝き Interview
TBS アナウンサー 皆川 玲奈 さん
時代の0.5歩先を見据えて人に伝えたい。
- 12 Health Information
東京慈恵会医科大学 糖尿病・代謝・内分泌内科 准教授
西村 理明 氏「糖尿病とは」
- 16 SCOOP 学校法人矢谷学園 鳥取城北日本語学校
外国人高度人材育成雇用プロジェクトが
鳥取市で10月よりスタート
- 18 Pick up interview 和歌山県東牟婁郡北山村
村長 山口 賢二 氏
山に抱かれ、川とともに生きてきた、日本で唯一の「飛び地」の村。
- 22 SCOOP 丸福水産株式会社
ナノテクノロジーが生んだ
新しいあわび陸上養殖システム
- 24 企業探訪
イラストレーター 坂井 永年 氏
会社の強い味方 イラストで語る企業PR
- 26 企業探訪 株式会社ヤマダ・エスバイエルホーム
「オンリーワンの思想」
ただひとつ、という価値を求めて。
- 28 HOT BREAK 小金井カントリー倶楽部
取締役支配人 春山 淳 氏
都下の名門ゴルフクラブを訪ねる
- 30 Asian Now
ベトナムの変遷20年、
外国人技能実習制度の変遷10年。

他：組合広告、テルウェル西日本株式会社 表4：株式会社ヤマダ・エスバイエルホーム

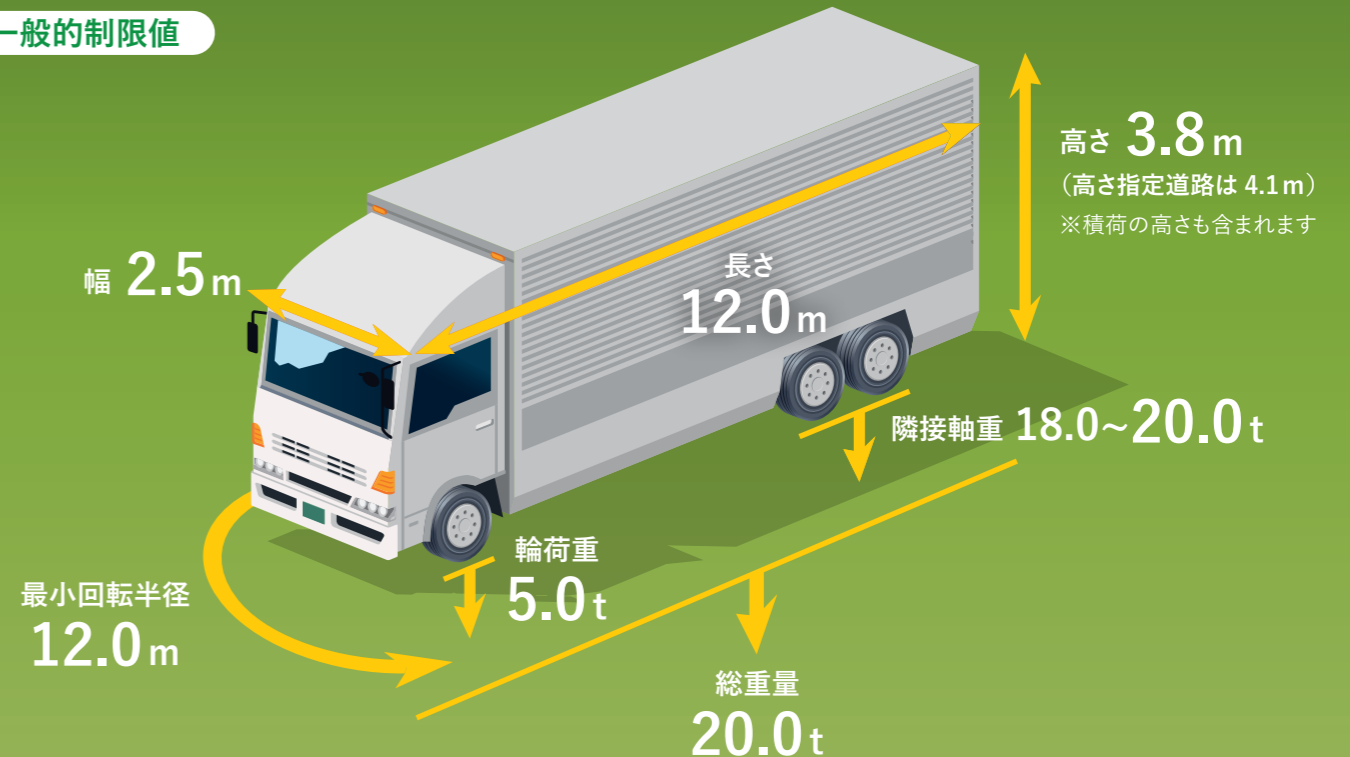


ING 2018年 vol.15 発行：一般社団法人国際情報普及協会 〒105-0004 東京都港区新橋5-12-1 露月町ビル4階 TEL：03-3434-6203
編集長：小松 宣俊 製作：株式会社コノミティ 編集部：鈴木 直人・宮川 和己・早川 智哉・諸澤 孔司 デザイン：株式会社プランニング・ロケッツ 印刷：株式会社タイム
定価：300円(税別) ※本紙の掲載記事の無断転載を禁じます。 ※掲載内容・広告のお問い合わせは、株式会社コノミティ 編集部 TEL：06-6399-3670

車両制限令を 守りましょう!!

道路は、一定の構造基準によって作られており、構造の保全、交通の危険防止のため、
通行する車両の大きさや重さの最高限度(一般的制限値)が定められています。
「車両制限令違反」とは、車両全体の重量が一般的制限値又は許可された限度値を超過することをいいます。

一般的制限値



もし車両制限令に違反してしまったら...

車両制限令に違反した場合、道路管理会社から「措置命令書」もしくは「指導警告書」が、運転手へ交付されます。交付された場合は、速やかに会社へ報告して下さい。報告をしないままにしておくと、点数が累積され、会社の方へ「ペナルティ(割引停止等)」が発生する可能性があります。



会社へ報告する
会社が組合へ報告し、適切な処置方法を検討



会社へ報告しない
累積点数が増え、会社の方へペナルティが発生





すべては患者さまの、 「治してくれてありがとう」 という一言のために。

日本最大規模のニュータウンを抱え、首都圏のベッドタウンとして成長を続けてきた東京都多摩市。その中核病院として、40年以上の歴史を有する日本医科大学多摩永山病院。人々の健康を守るために、掛け替えのない命を救うために、リスクに果敢に挑む病院の姿勢や志について、吉田寛院長にお話を伺いました。

日本医科大学多摩永山病院 院長

よし だ ひろし
吉田 寛 氏

【プロフィール】

1986年日本医科大学卒業 1992年同大学大学院修了 2011年日本医科大学多摩永山病院消化器外科・乳腺外科・一般外科部長 2016年4月より現職 日本医科大学消化器科学教授を務めるほか、日本外科学会代議員、日本消化器外科学会評議員をはじめ多くの学会の役員を務める 2018年4月より日本医科大学消化器科学主任教授(予定)

[聞き手] 本誌編集長 小松 宣俊

多摩市民の健康を支える

日本医科大学多摩永山病院は、その名の通り日本医科大学が運営する病院です。1977年に、当時活発に開発が進み、人口が急速に増えていた多摩ニュータウンに住む人々の健康を守る基幹病院として開院しました。以来40年以上にわたり、弊院は医療の面から多摩ニュータウンの発展を支え、現在では広く多摩市民の健康を守るために先進医療の提供に努めています。多摩市には近隣の町田市や稲城市のように公立の市民病院がなく、弊院にその役割を担うことが期待されているのです。



ところで2011年に、消化器外科部長として弊院に赴任したころは、多くの多摩市民が都心の病院を利用していました。駅前というまたとないロケーションの弊院を訪れず、皆さん電車で1時間ほど揺られて都心の大病院やがん

センターに通っていたのです。そのことを知り、何ともいえない虚しさや悔しさを感じました。「技術も設備も、都心の医療機関と比べても遜色がないのに、なぜなんだ」と。その後、良い病院という評判を聞いて、弊院には都心はもとより全国各地から患者さまが集まってきました。ところが一向に、多摩市民の受診は増加しませんでした。

これは市民病院の役割を担う医療機関として、由々しき問題と意思しました。

そこでわたしは、地域医療の現状を知るとともに、地域の医療機関との連携を図るためにあいさつ回りを始めたのです。来る日も来る日も、のべ500

カ所ほどの開業医院を訪ねたでしょうか。歓迎してくれる医師もいましたが、辛辣な言葉を浴びせられることもあり、「そちらにはいつ電話しても長々と待たされる」、「患者さまを紹介しようとしても断られる、だから市外のほかの病院を紹介しているんだ」と。

地域の医療機関との連携強化

早速、医療連携室に直通電話を設けるように働きかけ、連携した医療機関から電話があると、その依頼を一切断らず、すべての患者さまを即座に受け入れる体制を整えました。さらに、外科と内科に別れていた消化器科の窓口を統合し、「消化器病センター」を新たに創設するなどの組織変更に着手しました。

それまでは電話を受けるとさまざまに窓口を回し、それぞれの窓口で詳しい病状を聞き、挙げ句の果てに紹介を断るといった状況が当たり前となっていて、これでは多摩市民や地域の医療機関の信頼を得ることはできません。

そもそも、相手は一刻を争っているのです。こちらの医療が必要だから、まさにわらにもする思いで電話をかけてきているのです。それなのに長々と待たされた上に転院を断られたとなったら、医師も患者さまもどんな気持ちになるでしょうか?ときには、命にかかわることもあったのです。

2011年に始めた院内改革と地域の医療機関との連携強化により、弊院を訪れる多摩市民の数は増え続け、現在では全患者のうち約半数が多摩市民となっています。



高リスクの方を受け入れる

すべての患者さまを即座に受け入れるためには、医師一人ひとりに幅広い知識と技術が求められます。言い換えれば、自分の専門性にこだわっていると、さまざまな患者さんを診ることができないということです。例えば、わたしは消化器外科の中でも肝臓を専門としていますが、必要であれば胃や大腸の手術も行い、一通りの内科的疾患にも対処できます。万一、肝臓以外の高度な専門性が必要と判断した場合には、ほかの医局員とスムーズに連携する体制を構築しています。医師の中にはこだわりとして、自分の専門分野以外は一切診ないという人もいますが、弊院の医局員には少なくとも、そのようなこだわりを持つ人材はいません。

もう一つ、すべての患者さまを即座に受け入れるために必要なことがあります。それは、リスクの高い方も受け入れられるようにしておく、ということです。先ほど、弊院では他施設で入院や手術を断られた方を積極的に受け入れるとお話ししましたが、それはすなわち、リスクの高い方を受け入れているということなのです。そのリスクとは、手術そのものが困難であるとか、高齢であるとか、合併症の恐れがあるとか実にさまざまですが、弊院の医局員はこのようなりスクをリスクと思わず、あらゆる患者さまの命を

24時間つなげる安心を

これは病院としてではなく、個人としての取り組みですが、わたしは患者さまと携帯電話やパソコンでメールのやり取りをすることがあります。退院後に体調の変化があったら、メールで気軽に知らせてくださいとお願いしているのです。わたし自身も経験があり、ですが、病院を出た後に何かあればとても不安になり、どんな形であれ医師とつながっていたいと思うものです。そういった気持ちに配慮するために、メールのやり取りを行なっているのです。

例えば退院して間もないころであれば、体温が平熱から1度ほど上がるだけで落ち着かなくなり、また病院に行かなければならないと思うかもしれません。しかし、37.5度程度なら様子見レベルであり、急いで病院に来るほどではなく、そのことをメールでお伝えすると皆さま安心されるのです。実際に、退院後に37.5度の熱が出て救急で来る患者さまもいらつしやり、そうすると心身に



助けることに全力を注いでいます。例えば肝臓内に悪性腫瘍ができ、それが血管とくっ付いているために手術の難易度が高くなり、それゆえ他施設で手術を断られたという患者さまに対して、弊院では血管と腫瘍を一緒に摘出することで無事に手術を終えることができました。ほかの施設では「ややこしい」と考えられるケースなのかもしれませんが、弊院の医局員は難易度が高いとされる手術を数多く経験して成功させているため、この程度であれば特にややこしいと思わないのです。また弊院では、ほかの施設では敬遠されがちな高齢の方の手術も、必要であれば行なっています。実際にわたし自身、90歳を超えた方の肝臓がん手術を手掛けたことがあり、その安全性には大きな自信を持っています。

QOLを高めるために

一般に、糖尿病の方や血圧の高い方、腎臓疾患の方の手術には合併症の恐れがあるとされていますが、弊院では「周術期管理」と呼ばれる術前・術後の管理を適切に行うことで、そういった患者さまの手術も積極的に行なっています。このような手術の経験を積むことで、医局員一人ひとりの周術期管理能力が高まり、弊院における合併症リスクは低いものとなっています。また、合併症には手術後の肺炎などが

余計な負担をかけるばかりです。

メールは24時間いつでも好きなときに送ってもらい、最近ではスマートフォンでのコミュニケーションアプリ「LINE(ライン)」も利用しています。もちろん、夜中に受信したメールをチェックするのは朝からで、手術中などに着信を確認することはできませんが、「何か」をすぐに医師に伝えられるという

安心は、患者さまにとって何物にも替え難いことだと思っています。電話ではなくメールにしているのは、その方が患者さまも気軽に連絡できるという点で、文章に内容を上手にまとめ

ることができるところからです。このことを気付かせてくれたのは、わたしの母でした。今から十数年前に亡父が入院していたとき、母からよく電話がかかってきたのですが、いつもとりとめの話で何がしたいのか分かりませんでした。とはいえ電話をするなどいえず、ならばメールに



ありますが、その危険性を下げるために、弊院では可能であれば患者さまに手術の翌朝から歩くようにしてもらっています。ずっと寝ていると痰が背中側にたまり、それによって肺炎が起る危険性が高まるからです。また、歩くことは筋力の維持につながり、さらに適度な疲労をもたらすことで夜の睡眠を確保して昼夜の逆転を防ぎ、せん妄の発症や徘徊の発生を抑制することができます。



手術後の翌朝から歩くことは現在の医療では当たり前のことになっていますが、当科では肝臓手術後の安静期間の短縮をいち早く始めました。それは2000年ごろのことで、当時は肝臓手術を終えた後、5日間はベッド上で安静にしているのが常識とされていました。しかし、そうすると先に述べたように合併症や筋力の低下、せん妄の発生などを引き起こす恐れがあり、患者さまのQOL(生活の質)を損なわせないためにも、できるだけ手術前の状態を維持させることが良いと考えたのです。そこで5日を4日に、

4日を3日に、3日を2日にというように徐々に安静期間を短くし、その間に大きなトラブルがないことをしっかりと確認した上で、たとえばがんの手術後であっても、その翌朝から歩いてもらうようになりました。この取り組みを始めたころは、多くの人が「絶対無理だ」とか「あまりにも危険だ」と反対されましたが、今ではこれが当たり前のことになっていて、思うと、感慨深いものがあります。

QOL(生活の質)の点からいうと、これからはその人に合わせたオーダーメイド医療のニーズが今以上に高まるだろうと考えています。同じがんの治療でも、40歳と90歳の人とは望むことがそれぞれ違うでしょう。

余命の過ごし方も、病院で寝たきりで1年を送るのか、それとも10カ月間、自宅で家族と生きるのか、どちらの過ごし方を選ぶかは人それぞれでしょう。今後、弊院では可能な限り患者さまのご希望に沿った医療の実現を目指し、その方にとってベストの医療を提供していきたいと考えています。

してみたらどうだと提案してみたのです。人間は、話す際には何の準備もなく相手に何かを伝えようとしますが、文章をつくとすると伝えたいことを自然に吟味するものです。そうすると、伝えたいことが相手に伝わりやすくなり、さらに頭が論理的になって心も冷静になり、ムダな心配事がなくなります。母はかなりの高齢ですが、メールでのコミュニケーションは今もとてもしっかりとしています。

病院一丸となって赤字解消

現在、わたしは院長を勤めており、医師でありながらも経営者としての責務を負っています。院長になったとき弊院は赤字の状態にあり、その改善がわたしに課せられた喫緊の課題でした。患者さまに質の高い医療を提供するためには、人材と設備の両方を充実させる必要があります。そのためには収益性の向上が不可欠だったのです。

今、日本の病院の約7割が赤字とされ、その最大要因は医師や看護師の人員費がかさむことです。しかし、病院にとって人件費の削減はそのまま、医療の質の低下を招く恐れがあります。かといってこのまま手をこまねいては赤字が増え、人材と設備の充実を実現することができません。もし、公立の病院であれば自治体からの補填を期待できますが、私立であれば自発的に努力するしか現状を改善する方法はないのです。そこで、弊院では病院一丸となつて節約に取り組むことに決め、その中で最も重視したのが残業を減らすことでした。もともと、この取り組みはそれほど困難なことではありませんでした。というのも医局員に残業を迫る大きな要因の一つが、合併症リスクにあったからです。一般に、手術後に患者さまが合併症を起こさないよう見守るために、医師は超過勤務する傾向があるとされています。

しかし、先に述べたように弊院の合併症リスクは低いものであり、こういった面から医局員一人ひとりが不用の残業を比較的容易に減らすことができたのです。その分、医局員の精神的、肉体的な負担が和らいだことはいうまでもありません。



また、弊院では国が推奨する医療費支払い制度である「包括医療費支払い制度（DPC）」を採用しています。一般にこの方式では、合併症リスクが大きいほど病院の収益性が下がるといわれています。



地域完結型医療を目指す

先に述べたように、弊院では地域の医療機関との連携を深めることによって、

また、多摩市の医師会のネットワークは大変強固で、万が一誰かの都合が悪くなつて患者さまの家にいけないとしても、誰かが代わりに対処できるという体制が整えられていて、これはこちらとしても心強い限りです。

弊院が目指す地域完結型医療の取り組みは、年を追うごとに活発になっていて、その内容の充実ぶりは国のモデルケースになるほどだと自負しています。

並大抵のことではありません。多摩市をはじめ全国各地の自治体で少子高齢化対策が打ち出されていますが、これといった効果が現れたという話は残念ながら聞いていたことがありません。一方で、この波に逆らうのではなく、いつそのこと弊院がある永山を高齢者が住み良い街にしてはどうかと、わたしは考えているのです。

多摩市は日本の高齢化社会の縮図といえるほど、高齢化が顕著に進んでいる自治体です。1997年に7%だった65歳以上の高齢者の人口割合が、2007年には17%、2017年には27%と右肩上がりで増えているのです。地方に行けば40%を超えている所があるのですが、まだまだ大丈夫と思うかも知れませんが、1年に1%の上昇率はかなり高く、10年後にはもしかすると40%を超えているかもしれません。



例えば、弊院の周りに老人ホームをつくり、互いに連携するシステムを構築する。老人ホームでは、入居者それぞれが活躍できるような機会や場を準備し、誰もが「自分はまだ必要とされている」と思えるような環境を整える。それはそんなに難しいことではなく、入居者同士が車椅子を押して押されてというような関係づくりでもいいと思うのです。また、駅前の商業施設は高齢者が気軽に利用できたり、楽しく遊べるものにして消費を生み出すように工夫する。

これはまったくの私見に過ぎず、夢のような話です。しかし、急激な高齢化は避けられるものではなく、それにいかに向き合うかが、これからの国と

「病を患っている人にとって、医師は神のように見えるので、決して裏切るようなふるまいはするな。わたしは折に触れ、医局員にこういつています。私が医学生の時、虫垂炎で緊急手術を受けましたが、お医者さんは神様に見え、看護師さんは天使に見えました。生きるか死ぬかの境地に立たされ、痛くて、辛くて、悲しくてたまらない人はきっと、自分を治してくれる医師を神として、看護師を天使として見ているはずだ。だからといって決しておごらず、それにふさわしい存在に少しでも近づけるよう、努力を怠ってはならない。」

各自自治体の課題だと思っております。とはいえ多摩市全体で取り組むのは何かと大変なもので、「とりあえず永山だけでもいいかですか？」と市長にお話ししているところなんです。年を取つたらぜひあそこで暮らしたい、そう思ってもらえるような街づくりを他に先駆けてはしませんかと。

「医師は神であれ」

身につけるべきことは、何も技術的なことだけではありません。手術を目前にして、不安に押しつぶされそうになっている患者さまやそのご家族を前にしたとき、神なら果たして、どのような立ち居振る舞いをするだろうか。そういったことをしつかり自問した上で、日々の医療に取り組んでほしいと、常に医局員に話し

多摩市民の利用を増やすことができました。それは、国が推奨している「地域完結型医療」につながることで考えています。地域完結型医療とは、初期治療は地域のかかりつけ医が行い、専門的な治療や高度な検査、入院治療や救急医療は弊院のような地域の中核病院が受け持ち、急性期の治療が終われば病状が安定すると、再び地域のかかりつけ医が診療を行うか在宅医療を行うという、患者さまの身近な地域の中で切れ目のない医療を提供するというものです。

弊院では、地域完結型医療をより有意義なものとするために、在宅医療を専門に行なっている地元の医師を非常勤講師として迎え入れています。中核病院から在宅医療への移行は、実はハードルが高いのです。患者さまの家がどのような構造か、バリアフリーになつているのか、また、家族構成はどうか、在宅医療専門医師が対応可能な病状かなど、細かいところまで分からないことが幾つもあります。特に多摩ニュータウンには4階建なのにエレベーターがない団地があり、そういった居住形態では在宅医療が困難になるケースがあります。このような事情をよく分かっているいま、在宅医療を勧めるのは不安です。しかし、在宅医療を専門に行なっている地元の医師なら、患者さまの家の構造や家族構成を把握して、その方にあつた在宅医療の提案が可能です。

わたしを含め、弊院の医局員が最も生きがいを感じる瞬間は、患者さまやそのご家族から「ここにきて元気になることができました。治してくれて、本当にありがとうございます」という言葉をいただくときです。この一言以外に、どんな言葉もありません。だからこれからも、この一言をいただくために、弊院では医局員みんなが崇高な志を求め、一人ひとりの患者さまの治療にベストを尽くしていきたいと考えています。

掛けているのです。



日本医科大学多摩永山病院 院長 吉田 寛 氏



日本医科大学多摩永山病院 1977年の開院以来、多摩ニュータウンにおける地域医療の基幹病院として「災害拠点病院」や「東京都指定二次救急医療機関」、そして「HIV拠点病院」「東京都がん診療連携拠点病院」等地域に貢献すべく幅広い活動を行なっている。

所在地 〒206-8512 東京都多摩市永山1-7-1 TEL:042-371-2111 (大代表)

URL https://www.nms.ac.jp/tama-h/



時代の0.5歩先を見据えて 人に伝えたい。

Reina Minagawa

TBS アナウンサー

さん

1991年生まれ 東京都出身 青山学院大学卒業後、2014年にTBS入社 現在『NEWS23』(月～木/
午後11時10分～、金/午後11時30分～、『東大王』(日/午後7時～)などに出演中 趣味はテニスをした
後に温泉で体を癒すこと 所有免許・資格は国内A級ライセンスや小型船舶操縦士免許1級など多数

TBSの看板番組であり、骨太の内容でテレビ報道の可能性に挑み続ける『NEWS23』に、
キャスターとして出演中の皆川玲奈さん。
確かなアナウンス力に定評があり、
自ら取材もこなすという皆川さんに、仕事に対する思いを中心にお話を伺いました。

『NEWS23』ホームページ
<http://www.tbs.co.jp/news23/>

★視聴者の方に近い目線で

「スバリ、『NEWS23』の強みはどこにあるとお考えですか？」

皆川 取材力が強みと考えています。『NEWS23』は放送時間が午後11時台ということもあり、外からの中継を含め、その日の出来事をまとめ、スタジオからお伝えすることに重きを置いた番組です。視聴者の方に関心を持っていただくためには、短い時間内で出来事の核心を深く、そして分かりやすく伝える必要があります。そうするとやはり緻密な取材力が重要になるのだと思います。

「アナウンサーでありながら、ご自分で取材されることがあるそうですね。」

皆川 はい。カメラさんや音声さんと現場に向き、取材するのに2日ほどかけることもあります。中継のときは原稿も自分で書き、担当ディレクターやカメラさんとよりよく伝わるようあれこれ議論します。

「お仕事をする上で心掛けていらっしゃる点は何ですか？」

皆川 現場で取材しているときから番組で原稿を読むときまで、アナウンサーとして客観的に、自分は何を伝えるべきか、どうすれば印象的に伝えられるかということに常に意識しています。また、取材



経験を積むうちに、正確な情報発信のためには現地に赴き、できるだけ多くの人の話を聞くことが大切という思いを強くするようになりました。先日も名護市長選挙の取材で沖縄に行きましたが、やはり考え方は人それぞれだということを、あらためて思い知らされましたね。

「『NEWS23』はシリーズ企画も見応えがあります。」

皆川 最近力を入れているのが「学校の問題」シリーズです。いわゆるブラック校則や厳しすぎる部活、教師によるセクハラといった社会問題を取り上げています。

「星浩さんの存在も光っています。」

皆川 新聞の政治部記者をされていた方なので、毎日のように独自取材を行い、

常に新しい情報をお持ちです。でも、番組では「エッ」と驚くようなことを、何の前振りもなくサラッとおっしゃることが多いんですね。集中していないと聞き逃してしまうこともあるので、これから『NEWS23』をご覧になるときは今以上に星キャスターのコメントに注意して、肝心の「囁き」を聞き逃さないようにしてください(笑)。ところで星キャスターはほかの出演者やスタッフの方に、いつも「時代の0.5歩先」を見据えた番組をつくろうとおっしゃっていて、その意味は報道番組として独自の視点を持ちつつも、視聴者の方に近い目線でニュースを伝えていくということなんだと、わたしなりに理解しています。

★信頼されるアナウンサーに

「アナウンサーになられてこの4月で5年目に入り、『NEWS23』のサブキャスターに抜擢されたこの3月で丸2年ですが、以前と比べて変わったと思うことはありますか？」

皆川 自分のことはもちろん、番組全体を一步引いて見られるようになりましたね。アナウンサーとして出演してすぐの頃は、生放送であることから最初は原稿を読み間違えてはいけないとか、自分がこんなことをいっていいのだろうかとか、とにかくいろんなことで頭がパンパンになつて星キャスターや雨宮(塔子)キャスターと自然なやり取りをする難しさを感じていました。しかし回数を重ねるうちに少しずつ、自分自身やほかの方を見ることができるようになり、受け答えも自分なりに考えてできるようになっていくように思います。



—それは、いろいろな面で成長したというところでしょうか？

皆川 アナウンスのスキル面で上達させなければならぬ部分も、まだあります。また、知らないことや分からないことも多いので、気になることは星キャスターやディレクターに尋ねたり、政治や経済の専門書などを読んで解決するように心がけています。力といえば、あることがきっかけで、生放送の報道番組では瞬発力が何よりも大事ということに肝に銘じるようになりました。

—そのあたりは、何ですか？

皆川 2016年4月に熊本地震が発生したとき、原稿のない状態で正確な地震情報を伝えなければならぬという状況に置かれたことです。『NEWS 23』のキャスターになって間もないころの出来事だったので、正直うまくできたかどうかは分かりません。自分としては被災された方々にどのような言葉と口調で呼びかければ、動揺を少しでも抑えることができるのだろうかということに念頭に置いた上で、必要と思われる情報を迅速かつ的確にお伝えしたつもりです。わたしはこの経験をきっかけとして、信頼されるアナウンサーになるという目標を持つようになりました。視聴者の方に、「この人ならちゃんとした情報を、こちらの気持ち



をおもんばかった上で伝えてくれる。だから信じてもいい」と思われるような存在になるという目標です。

—地震発生のような緊急ニュースが入ってきたときは、番組の内容も変わるのでしょつね。

皆川 番組では1日3回、午後5時・8時30分・10時に打ち合わせを行うのですが、緊急ニュースが飛び込んできて、打ち合わせの内容と放送内容がガラリと変わることはよくあります。

—なるほど。『NEWS 23』の

—出演はどのように決まったのですか？

皆川 入社以来早朝の『はやドキ！』という情報番組と、夕方の『Nスタ』という報道・情報番組に出演していたのですが、『NEWS 23』がリニューアルするから出てみないかといわれ、私自身も新たな気持ちで何かを始めたいと思って出演することにしました。

—テレビ局のいわば「顔」である夜の報道番組に抜擢されたということは、それだけ期待されているということでは？

皆川 そうだといいますが。

★人の痛みとともに歩きたい

—10年後の自分はどんなになっていると思いますか？

皆川 いろんなことにチャレンジして、局内で暴れていたいですね(笑)。

—そのころ、こんなアナウンサーになっていたという理想像はありますか？

皆川 暖かい「空気」のようなアナウンサーになっていたいですね。視聴者の方に、「この人の顔を見ていたら、この人の声を聞いていたら、何だかホッとする」と思っていただけでもいい存在です。これに加えて、先ほどもお話ししたように信頼されるアナウンサーになることが大きな目標であり、そのためには情報伝達の正確性もとより、人の気持ちをおもんばかる心をこれからも大切にしていきたいと思っています。

—話を聞きしていると、報道番組にかなり思い入れがあるように見えますが？

皆川 自分としては報道に限らず、いろいろな番組づくりに参加したいと思っています。例えば、報道とはまったくタイプの異なるバラエティ番組がどのようにつくられているのか知りたいので、機会があればそういった方面の番組づくりも体験したいですね。もちろん、アナウンサーのスキルを生かせることが第一条件です。

★連日の面接試験

—皆川さんは中学から高校時代にかけてモデルやタレントとして活躍されました。やはり同じテレビ関係の仕事ということでは、アナウンサーを志望されたのですか？

皆川 就職先としてテレビ局に漠然とした関心を持っていて、番組作りに携われるならいいなと思っていました。アナウンサーの試験ってどんな感じなのかという純粹な興味から、試験を受けました。

—モデルタレント時代の経験が今、生きていると思つてはありますか？

皆川 モデルやタレントは個性と表現力が命であり、アナウンサーとはまったく異なる仕事ですからね。ただ、仕事への向き合い方としては共通しているように思います。

—では最後に、皆川さんの好きな言葉を教えてください。

皆川 「痛みは、人を考え直させる」。大好きなアーティストの小沢健二さんが書かれた『つさぎ！』という物語の中の言葉です。人は痛みを知ること、自らの行いを反省したり、人と共感することができようになる、それによって何かを変えていくことができるんだと思うのです。これまでの取材で多くの人とお話しする中で、「ああ、この人は何もしゃべりたくないんだ」とか「きつと、もう全部忘れたんだ」と思わされたことが何度もありました。でも、わたしの仕事はそんな人からも「何か」を聞いて、その「何か」をほかの人に伝えることであり、そのためにはまず、その人の痛みを自分の痛みとして理解することが何よりも重要なんだと思つています。

—当たり前なのですが、人の痛みを知ることって大切なことですか？

皆川 『NEWS 23』の前の編集長がよく、「弱い人の立場になって、弱い人にライトを当てよう。報道番組にしたい」とおっしゃっていて、いつもいい言葉だなと思つていました。その言葉に込められた思いを実現するためにも、わたし自身も人の痛みとともに生きて、人の痛みとともに歩ける人間になりたいですね。



—就活時代の思い出はありますか？

皆川 数日間連続で面接を受けたことが思い出深いですね。毎日日替わりで違う部署の担当者から質問を受け、その日の夜に合否が分かり、次の日の面接時間を予約するというプロセスを繰り返し、運良く最終面接まで来ていました(笑)。

—アナウンサーになられて、何か習慣にしていることはありますか？

皆川 やはり政治や経済について日々、自分なりに勉強するようにしています。スキル面では、これまでに1日も欠かさず発声練習を続けています。「アー」と10秒ほど声を出すと、その日のコンディションが大体分かるんですよ。あと、「ホウ・レン・ソウ」を心掛けています。テレビの番組づくりはチームワークなので、必要な情報をみんなで共有する必要があり、

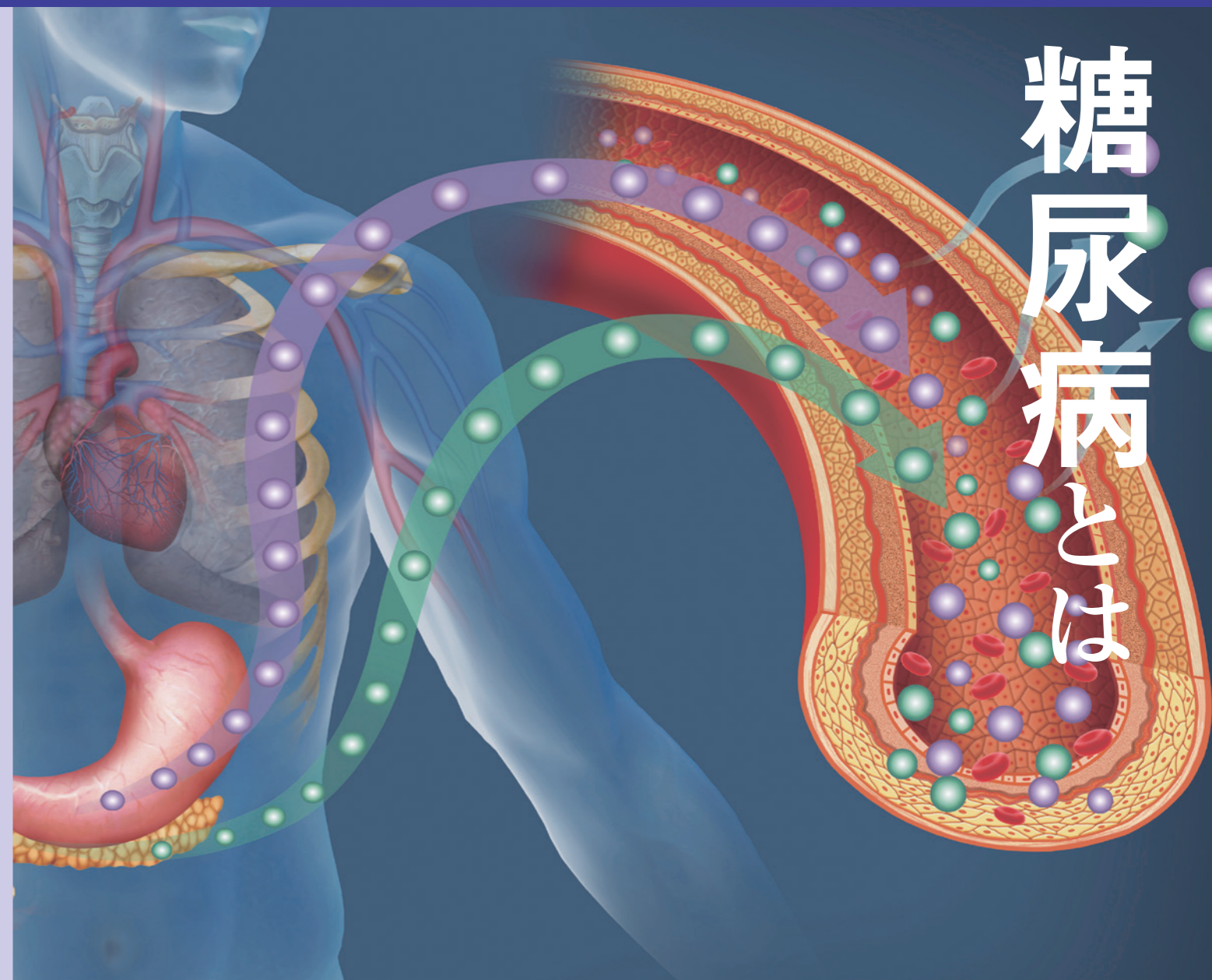
そのためにも報告・連絡・相談は欠かせないと思つています。また、感謝の気持ちを忘れないようにしています。報道番組のアナウンサーの仕事は一人でできるものではなく、原稿を書いてくれるディレクターや技術スタッフがいて初めて成り立つものです。ですから自分を支えてくれる人への感謝の気持ちを、ひとときも忘れないように心掛けています。

—夜遅い番組のレギュラーということでは健康管理に苦労されていると思いが、体調を整えるために何かされていることはありますか？

皆川 ヨガですね。早朝の5時ごろに寝る生活を続けていて、そうするとどうしても自律神経が乱れてしまうので、心身のバランスを整えるためにヨガを続けています。



糖尿病とは



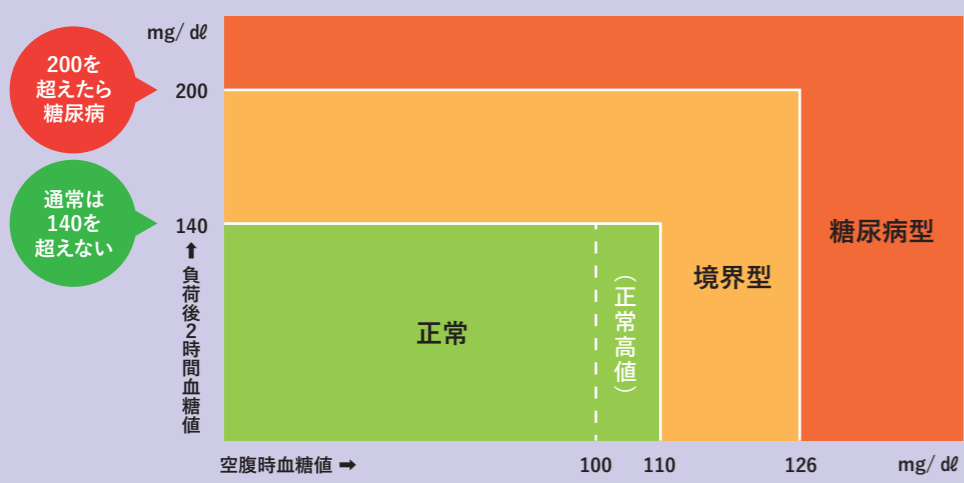
「1型」と「2型」の違い

1型糖尿病		2型糖尿病	
インスリンがすい臓でほとんどつくられなくなるために発症します。		インスリンの量が少なくなったり、インスリンが効きにくい状態（インスリン抵抗性）になるために発症します。	
子どもや若い人に多い	発症年齢	中高年に多い	
急激な場合が多い 症状の悪化も急激	発症のしかた	ゆるやかに発症し、 進行もゆっくり	
やせ型が多い	体型	肥満型が多い	
すい臓のβ細胞が破壊されたため	原因	遺伝的要因に肥満、過食、 運動不足などの要因が加わったため	

糖尿病の自覚症状



75g ブドウ糖負荷試験の判断基準



糖尿病は、大きく2つに分類されます。それらは、インスリンの分泌が途絶してしまい、インスリン注射が一生必要な1型糖尿病と、インスリン分泌は残存しているもののインスリンの効きが低下することにより発症する2型糖尿病です。糖尿病の大多数は2型糖尿病ですので、以後、2型糖尿病について解説します。

糖尿病は どうやって診断する?
最近では、口の渇き、体重減少、多尿等の、糖尿病特有の症状から糖尿病と診断される。現在、日本人成人の約4〜5人に1人が糖尿病またはその予備群、約10人に1人が糖尿病ではないかと推計されています。

方は極めて少なくなってきました。ほとんどの方は、健康診断や、人間ドック等で異常値を指摘され糖尿病と診断されています。
糖尿病の診断基準ですが、以下の4つの項目の内、①朝の空腹時血糖値 126 mg/dl以上、②75g 経口ブドウ糖負荷試験の2時間値 200 mg/dl以上、③時間に

関係なく測定した血糖値 200 mg/dl以上、④HbA1c（過去2〜3ヶ月の血糖値の平均の指標です）6.5%以上、の内、2つ以上を満たすと糖尿病と診断されます。しかしながら、④のみ2回だけでは、糖尿病とは診断できません。



東京慈恵会医科大学
糖尿病・代謝・内分泌内科
准教授

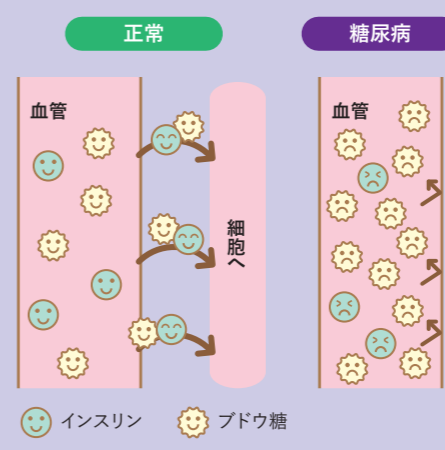
にしむら りめい
西村 理明 氏

日本糖尿病学会認定専門医・研修指導医。
日本内科学会総合内科専門医・内科認定医。

【略歴】
1991年、東京慈恵会医科大学卒業。
1997年、同臨床系大学院修了。
1998年、米国ピッツバーグ大学公衆衛生大学院修了、同客員大学院准教授。
2000年、富士市立中央病院内科医長。
2002年、東京慈恵会医科大学・糖尿病・代謝・内分泌内科より助手、講師を経て現職。

糖尿病とはどんな病気

私たち生物が生きていくためにはエネルギーが必要です。食物から摂るエネルギーは、炭水化物、タンパク質、脂質に分類されます。この中で最も重要なのが炭水化物、その中でもブドウ糖です。私たちの脳は多量のエネルギーを必要としますが、エネルギーとして利用できるのは、通常はブドウ糖のみです。



ブドウ糖は血管中を循環する血液により、全身に供給されます。健康な方では、すい臓から分泌されるインスリンにより、血糖値は100 mg/dl前後の狭い範囲に常にコントロールされています。インスリンの分泌が不足する、もしくは、インスリンが分泌されても、うまく効かずに、血糖値が上昇してしまう病気が糖尿病です。



糖尿病の治療はなぜ必要か

糖尿病は、「真綿で首を絞めるような病気」ともいわれています。ほとんどの方では、発症したときには自覚症状がありません。しかし、放置しておくとうつ然死することもあり（糖尿病の方の寿命は、平均寿命より約10年短いとするデータあり）、そうでなくても生活の質を大きく損なう合併症が出現してきます。症状が出てから

どうにかしてくださいと病院にいらっ

しゃつても、できることは限られています。

症状のない早期から、きちんと糖尿病を

コントロールすることが大切です。

糖尿病の合併症の代表は、三大合併症

として知られる糖尿病網膜症（進行すると

失明します）、糖尿病腎症（進行すると

人工透析か腎移植が必要になります）、

糖尿病神経障害（進行すると足壊疽、下肢

切断、EDにつながります）です。いずれも

高血糖が細い血管を傷つけることにより

起こります。

一方、生命の根幹を支えている太い血管が

通っている脳や心臓の血管をも、糖尿病は

傷つけます。最悪の場合、心筋梗塞や脳

梗塞などをおこし突然死につながることも

あります。また、歩行困難をもたらす足の

血管の動脈硬化を引き起こすこともあり

ます。

最近、認知症、骨粗鬆症、歯周病なども、

新たな糖尿病の合併症として注目されて

います。



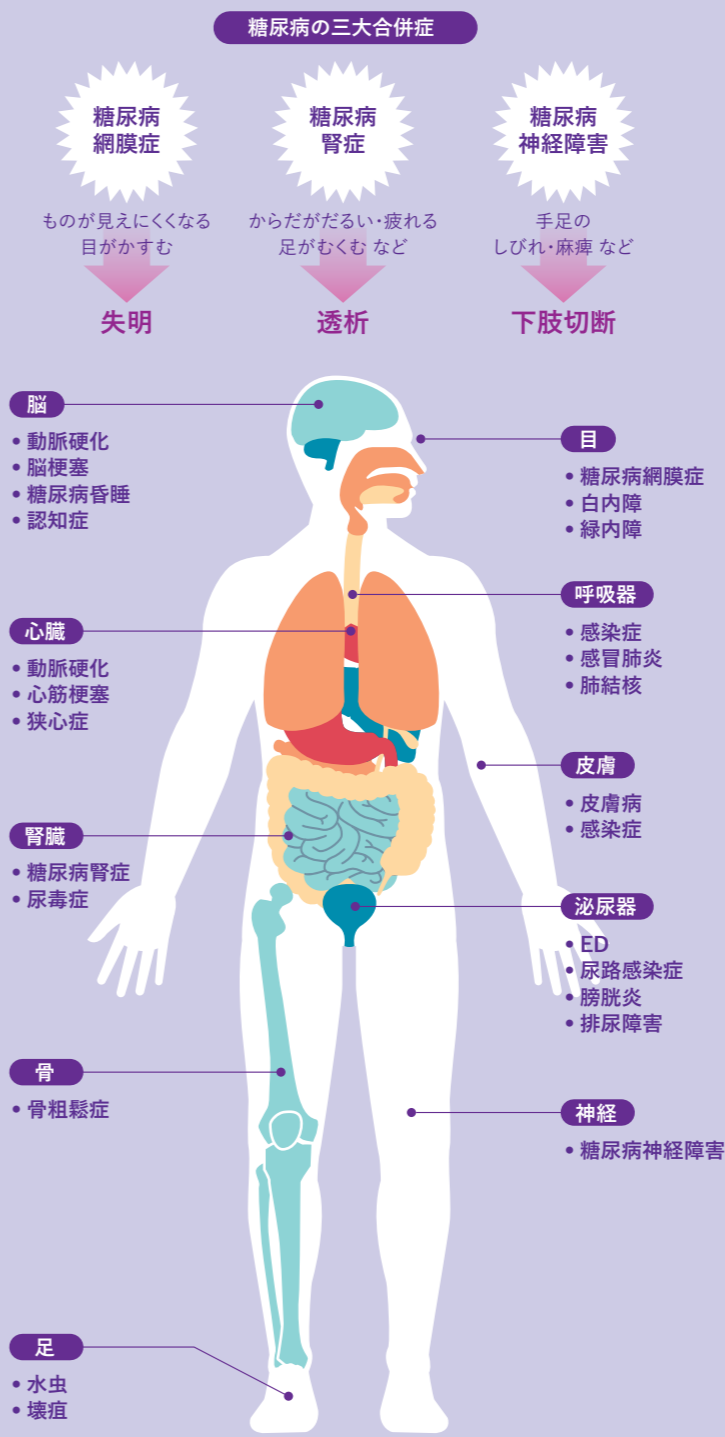
糖尿病の合併症を起さないためには

糖尿病と診断されたら、血糖をコントロールする治療が必要となります。合併症を予防するためには、過去2-3ヶ月の血糖コントロール状態を表すHbA1c（採血でわかります。食事の影響を受けません）を7.0%未満に維持することが推奨されています。次のページの表が、HbA1cの目標値ですが、この値に30を足すと、それぞれ、36,37,38になります。これを体温に例えて、せめて体温でいうところの37度（HbA1c7%）を目指すと、という風に考えると、感覚的に理解しやすいと思います。

例えば、HbA1c9%といわれて全く症状のない方では、病院に行かなくてもよいかと感じになるかもしれません。しかし、体温が39度という状態だと理解してくだされば、即日、病院に駆け込むと思います。

糖尿病の治療方針ですが、血糖値が著しく高い場合を除いて、まず食事療法と運動療法で血糖値の改善を目指すことが基本です。高血圧や脂質異常も血管を傷つけますので、合併している場合は、同時に治療します。喫煙している方では、禁煙は必須です。

食事療法に関しては、血糖値を上げるのは糖質（炭水化物）ですから、その摂り



過ぎに注意しましょう。うどん+牛丼のような「糖質の重ね食い」はよくありません。食べる順番も、重要です。最初に野菜や海藻など食物繊維の多いものをたっぷり食べ、次におかず、最後に炭水化物の順に食べると、食後の血糖値の急激な上昇が抑えられます。また、よくかんで、ゆっくり食べるとも大切です。

運動療法は、ウォーキングなどのカロリーを消費する運動と、筋肉を鍛える運動を組み合わせたことがポイントです。急激なダイエットをすると、筋肉が落ちてしまい、インスリンが効きにくくなるため、ダイエットを行うときは筋力を必ず併用しましょう。

運動療法を行う際には、心臓などに問題がないかを主治医の先生にチェックしてもらったことも大切です。

食事や運動で十分に血糖値が下がらない場合は薬を併用します。糖尿病の薬には現在、「インスリンの分泌を促す薬」「インスリンの効きをよくする薬」「糖の吸収、排泄をコントロールする薬」「インスリン」などがあります。個人により、最適な薬を選ぶ必要がありますので、詳しくは、担当の先生とよく相談してください。

糖尿病は、「闘病病」ではありません。食事療法と運動療法を基本として、必要に応じて薬を使いながら、「つきあっていく病気」です。糖尿病を「やつつけよう」など

といった気持ちがあると、糖尿病治療はけつてうまくいきません。「糖尿病は自分の一部」という気持ちで、まず糖尿病を受け入れる。そのうえで、糖尿病とうまくつきあいながら、健康寿命を延ばしていただきたいと思えます。



血糖コントロール目標

目標	コントロール目標値 注4)		
	血糖正常化を目指す際の目標 注1)	合併症予防のための目標 注2)	治療強化が困難な際の目標 注3)
HbA1c(%)	6.0未満	7.0未満	8.0未満

治療目標は、年齢、罹病期間、低血糖の危険性、サポート体制などを考慮して個別に設定する。

注1) 適切な食事療法や運動療法だけで達成可能な場合、また薬物療法中でも低血糖などの副作用なく達成可能な場合の目標とする。

注2) 合併症予防の観点からHbA1cの目標値を7%未満とする。対応する血糖値としては、空腹時血糖値130mg/dl未満、食後2時間血糖値1血糖値180mg/dl未満をおおよその目安とする。

注3) 低血糖などの副作用、その他の理由で治療の強化が難しい場合の目標とする。

注4) いずれも成人に対する目標値であり、また妊娠例は除くものとする。

(日本糖尿病学会)

外国人高度人材育成雇用プロジェクトが 鳥取市で10月よりスタート

日本の就業人口の減少が現実となったいま新しい外国人の育成、雇用手法の一環として鳥取市に学校法人矢谷学園「鳥取城北日本語学校」がスタートする。「鳥取城北日本語学校」の設立する経緯、狙いそして新しい方向性について、開学に奔走され、「外国人高度人材育成雇用プロジェクト」のメンバーのスキルウェイ協同組合 加藤彰一理事長にお話を伺いました。



スキルウェイ協同組合 理事長

加藤 彰一氏



Q 鳥取城北日本語学校が本年10月の開校予定ですが、どのような目的をお持ちでしょうか？また主にベトナムからの学生と伺っておりますが。

長年日本では外国人就労について、研修制度、技能実習制度、今回の技能実習法と外国人の人材活用について多岐にわたる制度改正して来ましたが、実際の各分野

での人手不足解消には必ずしも充足でなく、受入企業も行動規範や社内規程を整備し各種のリスクに対して敏感になり、コンプライアンス上の問題でも非常に難しい事が現実です。経営層は高い倫理観を持つて社会的責任を果たしていく必要があります。こうした現状を踏まえ企業の為に、そして市場の為にと模索している中で、このプロジェクトが生まれました。

また平成27年度よりベトナムとは物流のみならず、人の移動、知的財産権の保護、投資、競争政策など、様々な協力や幅広い分野での連携親密な関係強化を目指す条約経済連携協定(EPA)が締結されたことから、今回ベトナムを選定しました。

Q ベトナムのお人柄は？

ベトナムのお国柄が物静かに喋る人が

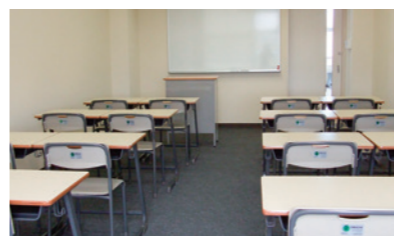
多く、全般的に勤勉で真面目、我慢強く、忍耐力があり、チームワークも得意であると言われ日本には受入れやすいイメージがあります。しかしながら、日本での生活に慣れてきますと意思疎通を図るなかでお互いに諸問題が出てきます。そのあたりを受け入れ企業側と学校と連携して解決に努め、より良き人材の育成意欲を高めて行く必要があると思います。

Q 求人難の時代に優秀な人材を育てるために学校としてはどうお考えでしょうか？

これからは学校経営設立者側の視点からみれば営利を目的にした日本語学校は淘汰されていきます。

学校法人矢谷学園は、「社会の発展の基礎は教育にある」との建学の精神に立ち、現在、鳥取市内に鳥取城北高等学校および

幼稚園・認定こども園を5園運営しております。この学園に諸外国で4年制大学を卒業し学士証明を有する人材を留学生として受け入れ、日本語は勿論、今企業に必要なコミュニケーション能力、やる気、挨拶、整理整頓等を重視して教育して頂きます。幸い学園の核となる鳥取城北高校は昭和24年建学以来、多数の人材を輩出してきた地元のベテラン校で、私も出身者です。



の大学を選定して学部採用します。また、同時に卒業後2年以内の方々をターゲットに絞り込んであらかじめ企業の採用内定後教育を開始する予定です。

Q 鳥取市のお考えや、地元経済界とのつながりは如何でしょうか？

当初から鳥取市と山陰合同銀行と連携し協議を進め設立に至りました。鳥取市は現在、ベトナム政府側との雇用に関する関係で協定を結ぶ計画があります。同時に山陰合同銀行様には、財政面はもとより企業紹介や、情報収集にご尽力いただいております。



併せて行政側には企業に何らかの補助等の支援を検討頂いています。また、今後は特定の職の経験を積むために、企業

や組織各位には労働に従事している期間、インターンシップ制度を活用いただくようお願いしています。欧米では、かなりの実績がありますが、実際の職場経験をすることで、職業意識を深め自らの適性を知ること、役立ち、学校就学後の就労段階への円滑な移行を促すなど、できる施策を模索し地域繁栄ができるよう産官学が集いました。

Q 現地大学卒業生及びそれに準じる者を対象としていますが、100名集まりますか？

交流ある海外進出企業や技能実習生を多く送り出している実績あるベトナム政府公認送り出し機関等より、随時入学希望者を紹介頂く予定です。多くの応募を期待しています。

Q 外国人技能実習生との違いについてお聞きます。

技能実習制度の目的・趣旨は、日本で開発途上地域等の出身国において修得が困難な技能等の修得・習熟・熟達を図るもので、出身国の経済発展を担う「人づくり」に寄与する制度です。国内就業人口の減少が叫ばれ外国人の長期就業を企業側が望んでいる現状からすると、ワーキングビザの取得が可能な外国人の就労は企業の発展につながります。また留学生が一年後

に「技術、人文知識、国際業務」の資格で就労が可能となります。技能実習生では叶わぬ運転免許 様々な資格を習得し、大学で学んだ技術を発揮すると同時に日本の永住権を取得申請も可能となります。

Q 日本の労働市場の現状に於いて「ブレイクスルー」となるか？問題点も含めてお聞きます。

日本では外国人技能実習生の受入、拡大共に制度の厳格化を進めています。が、受け入れ側に制度の主旨を理解して検討する意識が薄いのが実情です。制度に合わない企業へはお断りをして行く様にハードルを構築して行くべきです。

私達が鳥取城北日本語学校設立を目指しましたのは、正にこうした労働力不足解消に正面から取り組まなければならぬと思っただけです。

これぞ！日本の人口減、人手不足に貢献できると確信しています。

ただ、類は類で日本人でも外国人でもコンプライアンスを厳密に受け止めない人が居ることの問題は残りますが、これは限りない難題です。

Q 鳥取城北日本語学校の勝算は？

人は人によって支えられています。外国人に対して日本語教育を行い、併せて日本の文化や習慣に対する理解を深めた

高度な人材を育て、健全な社会構造を継続していきたいと思えます。それと併行して、鳥取城北日本語学校卒業生の就労後の評判が立てば、日本人同様の求人募集に需要は大いに高まり、外国人のイメージアップに繋がると信じています。多文化共生社会の発展が私達の願いです。留学生から「鳥取に来て良かった」、地元から「日本語学校ができて良かった」と言っているだけ、地域経済の活性化を担う人材を育成できるよう努めて参ります。

鳥取から日本全国へ、そして世界へ。

今後は日本経済の支えとなるであろう外国人を育て、共に歩む「鳥取城北日本語学校」のこれからの飛躍を私達は期待いたします。



石浦 外喜義 校長

鳥取城北日本語学校
〒680-0921 鳥取県鳥取市古海37番4
TEL 0857-21-0189 FAX 0857-30-0790

山に抱かれ、川とともに生きてきた、日本で唯一の「飛び地」の村。

花粉症に悩む人たちの救世主的な存在として注目を集めている「じゃばら」。この奇跡の果実を世に送り出したのが、紀伊半島南東部の山あいに位置する和歌山県北山村。人口が500人にも満たない地でありながら村独自の産業を有し、「日本唯一」という称号を130年近く守り続ける村のリーダー、山口賢二さんに、ふるさとの誇りについて語っていただきました。



不動大滝



七色峡



伝統の技を今に伝える「筏下り」

和歌山県東牟婁郡
北山村長
やまぐち けんじ
山口賢二氏

【プロフィール】
昭和24年10月4日(1949年)北山村生まれ
北山村議会議員を2期勤めた後、
2017年に北山村長に当選



今も昔も美しい日本の村

北山村は村域の9割以上が山林で、その真ん中を北山川の清流が流れるという自然豊かな所であり、今も昔も変わらぬ景観は「美しい日本のむら景観コンテスト」で農林水産大臣賞に輝いたことがあります。面積はおよそ50平方キロメートルとさほど広くなく、人口も500人に満たない村ですが、わが村は「日本唯一」という称号を誇るオンリーワンの自治体なのです。

北山村は、串本町や那智勝浦町とともに和歌山県東牟婁郡に属しています。ところがわが村だけが和歌山県から飛び出し、周りを奈良県と三重県の町や村に囲まれ、和歌山県のどの市町村とも隣接していません。わが村は「飛び地」であり、自治体単位の飛び地は日本に北山村しか存在していません。

では、なぜこのようになったのか。ここで少し、村の歴史についてお話ししたいと思います。良質の杉に恵まれたこの辺りは古くから林業が盛んで、住民は山から切り出した杉を、北山川を利用して木材集積地である新宮(現在の和歌山県新宮市)まで運び、商人に売ること暮らしを成り立たせてきました。それゆえ、かつての北山村と新宮は経済的に切っても切れない関係にあり、そのことからこの辺りは江戸時代、現在の和歌山県にあたる紀州藩に属していたのです。

明治維新後に明治政府が廃藩置県を実施すると、新宮は和歌山県に編入されました。地理的なこととはいえこの辺りは奈良県に編入されるはずだったので、住民があることを願い出たのです。「新宮が和歌山県に入ったのなら、ぜひわたしたちも」と。その思いは明治政府を動かし、この辺りは和歌山県に編入され、結果として飛び地となりました。そして1889年に5つの地域が一つになつて北山村が誕生し、以来130年近く、わが村は「日本唯一の飛び地自治体」という称号を守り続けているのです。

これまでに何度か合併話が持ち上がりましました。平成の時代に入つてからも新宮市との合併案が浮上りましたが、村の人々は北山村であり続けることを選んだのです。



筏下り

村を支え続ける「筏下り」

北山村にはオンリーワンがもう一つ、それは「筏下り」を観光として楽しめる、日本唯一の場所ということです。筏下りは村最大の観光資源であるとともに、この辺りの発展を支えてきた伝統文化なのです。

かつて北山村では山から切り出した杉を、北山川を下って新宮まで運んでいましたが、その運搬に使われていたのが筏です。村の筏下りの歴史は約600年前から続き、その伝統を支えてきたのが筏師です。筏師とは筏による運搬を生業とする人のことで、実はわたしもその一人なのです。この辺りの筏師たちは、大坂城築城に使われた木材を運ぶなどしてその名声を日本全国に広め、中には朝鮮半島と中国との境を流れる鴨緑江まで出稼ぎに行つた強者もいたそうです。しかし、昭和の中ごろに川の上流に3つのダムが建設されると筏師の数は減り、さらに林業が衰退したこともあり筏下りの歴史は途絶えてしまいます。

いけません。意外に思われるかもしれませんが、過疎には数字的な定義があるわけではなく、だから過疎の村といわれることに疑問を感じているのです。

北山村は人口500人に満たない小さな村ですが、村の面積や役場の職員の数から見ると、これぐらいの多さがちょうどいいのではないかと思っています。そのためいくら過疎地域に指定されていたとしても、人口を無理やり増やそうとは思っていません。村にとっての理想は、500人前後の人口を維持していくことだと考えています。とはいえ、わが村もご多分に漏れず高齢化が進んでいますが、若者はみんな村を出て、村民の方のほとんどが高齢者です。先人が独立を守り続けてきた村の存続には、次代を担う若い世代の移住や定住が不可欠であり、現在そのため取り組みを進めているところです。

一つは働く場所の確保で、筏下りとじゃばらという、わが村の二大産業を中心に雇用の創出に努めています。一例を挙げると、筏を流す会社を第三セクター方式で立ち上げ、そこに筏師を含む筏関連事業の人材を雇用できる体制を整えています。また、じゃばらの収穫が秋から始まるので夏は筏下りの仕事をし、それが終わるとじゃばらの仕事もできるといった柔軟な雇用環境を用意しています。



四の川渓谷

村の行く末を案じた先人たちは知恵を絞り、筏下りを観光事業として復活させました。それは1979年のことで、先人たちの努力の甲斐あって筏下りは今では年間8千人の観光客に楽しまれていて、わが村を代表する観光事業に成長しました。

筏下りは「奥静峡」という北山川の上流部分からスタートし、杉の丸太8本で組んだ筏を7つないだ全長約30メートルもの筏が、入り組んだ岩肌で囲まれた急流を下る遊びはスリル満点です。現在、北山村には15人の筏師が在籍し、数人の若者が未来の筏師を目指して訓練に励んでいます。

奇跡の果実「じゃばら」

ここ数年、「じゃばら」を通して北山村の存在を知ったという方によくお会いします。わが村はじゃばらの一大産地であり、じゃばらといつてもアコーディオンや提灯に使われるものではありません。ユズやダイダイ、カボスの仲間である柑橘系の果実のことです。古来よりじゃばらは北山村だけで自生し、あるお宅の裏に残っていた一本の木が、現在確認可能な最古の原木と考えられています。その木になる実がミカンのようなのに、食べてみると独特の「酸っぱうまき」があり、この謎めいた果実をうまく育てれば村の特産品になるのではと、木の持ち主が思いついたのがすべての始まりです。それからその方が研究を進め、謎の果実が世界に類のない新種であることが判明すると村も特産物とするべく栽培に乗り出し、1977年には品種登録を出願しました。

ところが長きにわたり、じゃばらが注目を集めることはありませんでした。村では積極的に情報発信をしていたにもかかわらず、その知名度を上げるまでには至らなかった。子育て家族の移住と定住を促すために、保育料や18歳までの医療費を無料にするなどの施策を実現しています。また、この4月から和歌山県で3人目の子どもを産んだ家庭には、1カ月3万円の子育て手当が1年間支給されるのに併せて、村では1人目の子どもから同様の手当を支給できるようにする計画を立てているところです。ちなみに現在、村内の保育所に通っている子どもの数は20人ほどで、人口が500人に満たない小さな村にしてはなかなかの数字ではないかと思っています。



ラフティング

「観光立村」を模索

一本の木になった、謎めいた果実から始まった小さな取り組みを、村の人々の努力と全国各地の方々のご厚意により、村の財政を支える産業に育てることができました。これは神が与えてくれた奇跡であり、本当にありがたいことです。じゃばらの名は「邪気を払う」ことにちなむそうで、これからもじゃばらが、村とじゃばら愛を愛するすべての人に幸運をもたらすことを祈っています。

ます。商業施設はコンビニエンスストアがあり、スーパーでのお買い物となると新宮市や熊野市まで出掛ける必要があります。最近ではそういった要望に応えるために、1カ月に一度、村外へのバスツアーを実施しています。都市部に暮らす方ほどのように思われるか分かりませんが、商業施設などの社会インフラがこのような状況でも、実際に住んでいると不便さは感じません。確かにラーメンを食べたいと思ってもすぐに食べることはできませんし、欲しいものがすぐに買えないといったことはありますが、山あいの村はどこも同じようなものです。そういったことを不便と思うか思わないかは、とりもなおさず心の持ち方一つであり、わが村に暮らす人々は昔から物質的な幸せではなく、精神的な幸せを享受してきたのだと思います。

ふるさとを誇りに思う

北山村では今年、4人の若者が晴れて成人式を迎えました。すでに村の外で暮らし、仕事に就いている若者たちに、このようなエールを贈りました。小さな村の出身だからと、恥じることも何もない。むしろ、自分たちがオンリーワンの存在であることを誇りにしてほしい、と。

村内の中学の卒業生は毎年5、6人で、そ

じゃばら関連のほかに、北山村が有する産業がもう一つあります。それは、筏下りに代表される観光事業であり、これからは「観光立村」をさらに進めるための施策に力を入れていきたいと考えています。

現在、北山川では筏下りに加え、急流をゴムボートで下るラフティングなどのアトラクションを実施していますが、いずれも夏場にしか楽しむことができません。そこで今後は、かつて筏師たちが歩いた山道をたどるウォーキングや雲海を愛するハイキングといった、夏以外でも豊かな自然を満喫できる体験型イベントを充実させる予定です。村には温泉施設があり、満天の星空を楽しめる露天風呂も魅力的な観光コンテンツの一つと思っています。また、今後は新宮市や串本町とのネットワークを生かし、広域観光連携を推進する必要もあると考えています。

過疎の村に疑問

北山村は「過疎地域自立促進特別措置法」の第2条第1項において、過疎地域に指定されています。わたしも村長として過疎に打ち克つことを目指していますが、その一方で、過疎がどのような実態はよく分かっています。

のほとんどが新宮市にある高校に進みます。みんな顔見知りだった中学から全校生徒が数百人に及ぶ高校に入ると、そこはまったくの別世界のように感じられ、自分は何か小さな村に生まれ育ってしまったのかと、自己否定に陥ってしまう子どもがいます。そんな子どもに、こんなエールを贈りたいと思います。北山村で生まれ育つたことを誇りに思い、これからどこに行こうと、堂々と振舞ってほしい、と。

ふるさとを誇りに思う。この気概が合併という安易な道に走ることなく、オンリーワンの存在としての歴史を刻んできた原動力にほかなりません。これからも北山村を「日本唯一の飛び地自治体」として存続させるためには、未来を生きる人たちが同じ気概を持つような村づくりにも励まなければならず、そのためには教育が果たす役割が重要になると考えています。それは学校で学ぶことだけでなく、普段の暮らしの中で見たり聞いたりすることも含む、広い意味での教育です。そう思うと、それは村ぐるみで取り組まなければならぬことであり、その代表であるわたしの責務はいつそう重くなることを実感しています。

日本唯一の村に生まれ育つたことを誇りに思い、堂々と振舞う。若者や中学生に贈ったエールは、実は自分への叱咤でもあるのです。

ING 読者プレゼント

北山村特産 日本でここだけ! 「じゃばらセット」

5名様にプレゼント

Web版読者の方はご応募いただけません



岩屋の宝石
北九州あわび

ナノテクノロジーが生んだ
新しいあわび陸上養殖システム

当社は、北九州発祥のナノテクノロジーであり、自社特許技術である酸素ナノバブル(IIウルトラファインバブル)を導入した新しいあわび陸上養殖システムを北九州の地で確立し、地元を始め全国の漁業者に技術移転することで、地域漁業の活性、日本の水産業の活性に貢献したいとの思いから本事業を開始しました。

これまで、様々な課題にぶつかり、試行錯誤を繰り返して課題をクリアしながら、丹精込めて育て上げたあわび達に、私たちは北九州地域発展の願いを込めて「北九州あわび」と名付けました。
ロゴマークは、北九州の「北」をモチーフに、手と手を取り合ったシンボル。
真ん中の日の丸は、純国産であることと、丸福グループのシンボルマークを表しています。また、外郭は、古より招福の文様とされる六角形で、縁起物のあわびを表す形として、より福を感じさせるデザインです。



ナノバブル生成ユニット NXN50A

こだわりの製法 其の志

特許技術

ナノバブル育ち

当社特許である酸素ナノバブル技術により、あわびにとって最適な溶解酸素量のコントロールと生体細胞の活性化を行うことで摂餌効率を高め、健康な状態を維持して成長促進を実現しました。



投入時の稚貝 2017/1/17-30mm 5g

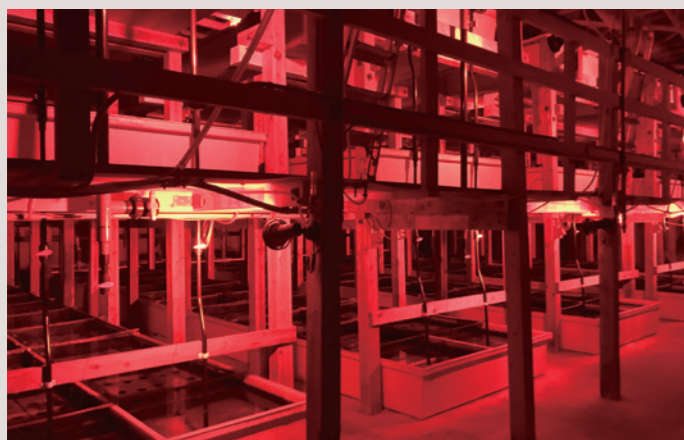
11ヶ月後 2017/12/12-85mm 75g

こだわりの製法 其の貳

徹底した環境管理

夜行性のあわびは、暗闇と静寂を好むため、飼育棟内の全ての照明は、あわびが明かりを認識しないように全て赤色とし、かつ、建屋は、外部からの音が伝わりにくい構造で建設しています。

これは、あわびがいつでも餌を食べへに出てくる環境であり、「良く食べ、良く動き、よく太る」良質のあわびを育てます。



こだわりの製法 其の参

栄養価の高い餌を使用

餌は、北海道産の「乾燥チガイソ」を使用しています。

チガイソは、アルギン酸やヨウ素、またフコキサンチンやフコイダンなどの栄養成分を豊富に含み、薬膳効果もあると言われるあわびの高栄養価の基となります。

また、乾燥チガイソは、空調機付きの保管庫で保管されており、常に最適な状態で供給できるように管理されています。



こだわりが生んだ
高品質養殖あわび

最新ナノテクノロジー・酸素UFB、あわびが好む水質・環境管理、栄養価の高い餌など、ストレスフリーで最適な環境の中、作業員は、日々あわびの様子をつぶさに観察し、ときに会話しながら、「大きくなあれ」と愛情をたっぷり注いで育てています。

厳選した純国産の稚貝を、北九州・響灘の地下水と国産チガイソのみで育てた結果、味・香・肉質それぞれが天然物に勝るとも劣らない、高品質のあわびが出来上がりました。



丸福水産株式会社 アワビ事業部 岩屋陸上養殖場



玄海国定公園 岩屋海岸



丸福水産株式会社
本社：福岡県北九州市小倉北区西港町94-22
TEL 093-592-0500 FAX 093-571-9364
<http://www.malufuku.com>

会社の強い味方 イラストで語る企業PR

朝顔市で有名な入谷鬼子母神から歩いて数分、商店街を抜け下町風情残る住宅街のアトリエを訪ねました。

「聞き手」本誌編集委員 鈴木直人

イラストレーターという職業とはどのような職業でしょうか？

坂井 お互いの意思や感情を伝えるものとして、絵(挿絵)を描くことを生業としている仕事です。そこから派生し(息を吹き込まれ)たものが、「キャラクター」と呼ばれています。

子供の頃から描くことが好きで、小学1年生から油絵を始めて今の仕事に繋がっています。

主な作品は？

坂井 「高校卒業直後の18歳でプロとしてデビューしました。22歳の時ビッグコミック関連の新雑誌『ビッグコミック・スペリオール』が創刊され、その表紙イラストを任せられました。当時としては大抜擢だったそうです。企業のロゴや福岡ソフトバンクホークスのキャラクター「ハリーホーク」、また選手のイラスト作成、新日本プロレスの

選手のイラストを手掛け、同時にポスター等関連商品の開発提案のお手伝いもしています。今年も5月に開催される新日本プロレス『レスリングどんたく』のポスターが大好評で毎年描いています。私のプロレスポスターの代名詞となっています。

福岡に観戦に行けば、坂井さんの作品と出合えるわけですね。

坂井 はい、ハリーホークファミリーが八面六臂の活躍をしてくれています。(笑)

言葉に代わり一枚で表現する仕事の愉しみは？

坂井 先ずはお客様から連絡を頂く瞬間が嬉しいですね。人との出会いが始まります。そして打ち合わせ、作品の構想を練り作品が完成します。一連の行程の中に瞬間、瞬間の葛藤



ホークスファミリーと ©SoftBank HAWKS

があり、常に勉強そして発見があります。着想が閃いた瞬間、その喜びが活力となっています。当然生みの苦しみはありますが、先ほど申し上げたスタジアムやリングサイドで観客の反応を見ると笑みがこぼれます。・関連商品の売れ行きは球団収益になります

ので会社に貢献できているかな々と、ちよつと自負しています。実際新日本プロレスでは私の絵の商品が元で「闘魂ショップ」という店舗もでき、億単位の収益を上げています。

実はホークスがダイエーホークスからソフトバンクホークスに経営移譲された時には、「ハリーホーク」を残留させていただきとファンのみならず福岡の財界からも嘆願が寄せられたと同じ、生みの親の私としてとても大変嬉しかったです。育ての親でもあるファンの皆様がベンチメンバーのひとりとして「ハリーホーク」を認めてくれた証しの出来事でした。本当に感謝しています。

坂井 担当者にできる限り直接会ううか？

坂井 担当者にできる限り直接会う



新日本プロレス 棚橋弘至選手と ©NJPW

ことを心掛けています。担当者を通してオーナーのイメージを脳内で描き、そして具現化していきます。ロゴは会社の顔となり、企業イメージを創ります。簡単な事務連絡はメールで行いますが、人と会うことが大切です。

「アイキャッチ」人が目で追えるロゴを想像して作成します。

下調べとかなさるんでしょうか？

坂井 企業概要程度は調べますが、あまり固定概念を抱かないように心掛けています。オーナーの個人的な情報や作品のヒントになることもあり、オーナーの生年月日から企業キャラクターが生まれたことがあります。他者と違う坂井さんがこだわる技法はありますか？

坂井 すべて手作業です。CGを活用することは可能ですが、私は微妙な線の引きに拘って、わずかなコマの世界を大切にしています。油絵を学んだ経験からでしょうか、CG全盛の現代では珍しいエアブラシでの製作を貫いています。

坂井さんの目指す「イラスト」とは何でしょうか？

坂井 私は「人」を描きます。似顔絵ではありません。会社に於いてはその企業の理念を掘り下げ、具現化します。厚生労働省から依頼の「1998世界

エイズキャンペーン」のポスター制作では、「根絶のための揺るがない世界中の熱意と願い」を表現しました。野球選手のフルスイングでねじれたユニフォーム姿に観客は酔いしれます。覆面レスラーはマスクを顔の皮膚として捉え、レスラーの表情を描きます。



デフォルメ(特徴の誇張)とリアリズム(写真)のはざまに坂井ワールドあるお好きな言葉があるそうですね。

坂井 「温故知新」です。多くの人から指南いただききました。落語等古典芸能を愛する祖母のおかげで油絵を学べ、高校生の時に紹介で絵画好きな林家木久扇師匠と出会え、師匠の紹介で出版社の仕事ができました。習作とは先人の画家の作品の模写です。技法を学び技能を磨き自分なりの方向性がやっと思えさせました。スチュアート・マスコウィッツという画家のおかげで私なりのイラストが確立できました。先人の教えが財産となり今の自分が居ます。

これからは？

坂井 「故手塚治虫先生のアドバイスによる「浮世絵」をより学び、融合した作品を発表できればと思います。今でも画力が成長している実感がありますので「まだまだ出来る」というか、自分の可能性にワクワクしています。そして福岡ソフトバンクホークスGMの王貞治会長の現役時代の一本足打法のイラストを完成させたいです。

生涯かけて…

坂井 「運命的とも思っています。まさか後に王会長のもとで仕事に携われるとは思いませんが、小学校時代王会長がベープルースの記録と並ぶ瞬間を偶然テレビを見て感動し、初めて野球選手を描きはじめました。いまだ納得できるフラミンゴ作品が出来ず今でも描き続けています。生涯かけて仕上げる作品になりそうです。

坂井ワールドに興味ある方々は当協会にご相談ください。企業を応援します。本日はありがとうございました。

イラストレーター 坂井 永年 氏

一歳半でエンピツを持ち始め、三歳で現在の原型となるような野菜を擬人化したキャラクターを描く。小学校より油絵を習い二科展、ユネスコジュニア部門で多数受賞、18歳でプロデビュー。現在、エアブラシアーティストの第一人者



コラム掲載中のプロレスTODAY編集部にて



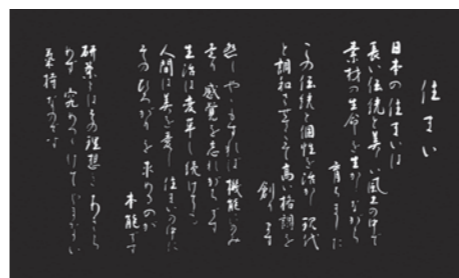
「オンラインワンの思想」 ただひとつ、という価値を求めて。

最高の住まいとは何か。その回答は、一人ひとり、必ずしも同じではないでしょう。同じ人、同じ土地は、二つとはありえない。しかも現代は、人々の生き方や志向性、土地・環境との関係性が多様化を極める時代です。

私たちヤマダ・エスバイエルホーム「kobori 研築工房」は、一つひとつの住まいを丹念に問い直し、住まい手の意識に共鳴するただひとつの最高を求めました。そして到達したのが「ベストワンからオンラインワンへ」の思想です。あらかじめ想定される「理想の住まい」を出発点に、理想に潜む本質を見極め、空間の可能性を最大限に引き出し、理想を凌駕する美しさと感動を実現する。それが「本格注文住宅」「小堀の住まい」。

1951年創業。 日本で最も歴史のある ハウスメーカー

戦後の復興が進む1951年(昭和26年)、技術者であった小堀林衛は「日本の再建は国民の住宅からだ」と会社を設立。「研究を重ねて、心で築く」という「研築」の精神で、住まいづくりに取り組んできました。創業当初から設計・デザイン力を活かし、一軒一軒異なるデザインの住宅を分譲販売するなど、本格的な注文住宅メーカーとしての地位を着実に確立してきました。



住まいの哲学

「デザインレビュー」。
「邸にこだわらざる、最高レベルのプラン」
kobori 研築工房では、邸にこだわらざる住まいづくりのために必ず実施する「デザインレビュー」というプロセスがあります。担当の建築家によるプランを全員で検証し、デザイン、機能性、構造などをトータルに磨き上げ、最高レベルの設計プランを

企業建築家を中心とした プロフェッショナル集団 kobori 研築工房

世界にただひとつの最高の注文住宅「小堀の住まい」をご提案するのは、全社の設計士から選ばれたkobori 研築工房の「企業建築家」たち。企業に属しながら、制約に掎われることなく自由な発想を自在に積み上げ、建築家として独創的でハイクオリティな建築を手掛ける設計のプロフェッショナル集団です。

ご提案します。個が持つ力を集結させ、質の高い仕事ができる。「デザインレビュー」は組織だからこそできる取り組みであり、kobori 研築工房の最大の強みでもあります。

**人生の新しい扉を開く住まい
「GATES」。**
ゲートを自在に組み合わせた心豊かな空間

2017年10月、ABCハウジング千里住宅公園内にオープンしたkobori 研築工房の新ギャラリー「GATES(ゲイツ)」は、RC造のメリットを活かし、小さくも大きなゲートを自在に組み合わせるようにプランニングすることで、変化に富んだ空間を住まいにつくり出しました。内と外が交差して生まれる多彩な空間は、遊び心や想像力を刺激して、オーソドックスな住まいにはない魅力ある暮らしを生み出します。



創業時の注文住宅

「設計ポイント」

人と自然と、地域社会と心地よくつながる住まいで、日々の暮らしや生きたるに楽しさを育みたい。

この住まいをひと言ひの言葉であれば、外に開き、地域や自然とつながる住まい。暮らしの楽しさを豊かさを決める要素として近隣のコミュニティも大切に考えています。誰が住んでいるのかわからないような閉ざされた家ではなく、可能な限り周囲と関われるような豊かな住空間を創りたいと思っています。

そこで考えたのが、大小様々なゲートを自由に組み合わせることでした。2面がオープンで、2面がクロースのゲートを重ねたり、クロスしたり、ずらしたりすることで「開く」「閉じる」をコントロールしています。その結果、プライバシーを守りながらも外の環境にオープンした、開放的な住まいが生まれました。また、フルオープン開口から、光や風、緑、暖かさ、音など、ふんだんに引き込める住まいを実現しました。住まいの中にいながら、季節の移り変わりを直接、五感で感じられ、昔懐かしい縁側にいるような心地よさを感じられると思えます。



kobori 研築工房
企業建築家
中村 晃 氏

この住まいをプランニングする上で心がけたことは、その土地が持っているポテンシャルを最大限に活かすこと。敷地内にあった大きくケヤキの木に向かって空間を開放することで、緑の心地よさをダイレクトに感じられるように設計しています。

このGATESは、四季、時間、天気により部屋が多彩に変化します。その多彩さを五感で感じること、この豊かな時間を育んでいただけると思えます。



SXL
ヤマダ・エスバイエルホーム

kobori 研築工房 千里ギャラリー「GATES」
TEL.06-4864-4801 〒565-0826 大阪府吹田市千里万博公園1-7 ABCハウジング千里住宅公園内55
kobori 研築工房ウェブサイト <http://www.sxl.co.jp/kobori/>

ING 読者プレゼント
「小堀の住まい」
邸宅実例集を5名様に
プレゼント!!

Web版読者の方は
ご応募いただけません

Interview 都下の名門「小金井カントリー倶楽部」を訪ねる

小金井カントリー倶楽部 取締役支配人 春山 淳氏



秋 春
冬 夏



武蔵野の面影が残るゴルフクラブ



東京都小平市

ゴルフ場誕生から80年。日本屈指の名門ゴルフ場として君臨されているゴルフ場ですが、1937年頃のゴルフは華族など、一部の特権階級が楽しむ時代であったと聞きます。「自由と平等」の原則に基づいた民主的なゴルフ倶楽部を事業家・深川喜一氏は目指して開業されたということですがそれはどんな意味だったのでしょうか？



小金井カントリー倶楽部は本来は名門ではないゴルフクラブです。階級意識の強い特権階級のためではなく、華族と平民と差別する時代の中で、むしろ庶民的で家族的雰囲気溢れるカントリー倶楽部、分け隔てない会員相互の親睦が図れるゴルフ場として民主的なクラブ運営が約束される「庶民のゴルフ場」を開業することが創業功労者深川喜一様のお考えでした。

現代においても会員に深川精神は浸透していますか？

会員の皆さんの議論、知恵を出し理想的なゴルフ場づくりを継承し、会員、従業員、コース三位一体となつて「目指すべきは明るく楽しい倶楽部ライフと品格ある倶楽部」を掲げ、「小金井のスタンダード」を確立していくことが変わらぬ倶楽部の方針です。同時に関東七倶楽部と日々交流し、定期的に会議

ているのは小金井CCのキャディさん達だ：ハウスキャディのレベルは日本を超えて世界に達しているのではないかと評された。

2005年にはクラブハウスを改築しましたが、旧ハウスの継承を重視して和風、質実剛健をキーワードに、時代に即した機能性、快適性を併せ持ち、そして受け継いだ緻密さ、品格が保たれるよう、材料を含め細部までこだわりも持ったクラブハウスです。また会員数447名だからこそ可能な家族的雰囲気を守り、会員ご家族にもより親しんで頂けるように、採光を考慮した吹き抜けの天井、広いスペースの食堂、テラス、2階までのエレベーターの設置など多岐に亘り改善を行いました。

バブル全盛期の1980年代には会員権が4億5千万円の高値を記録されましたが、現在のプレー代、年会費についてお聞きいただけますか？

年会費は30万円です。創立の精神を損なわず常に高みを目指し経営、運営するためには安定した財政基盤の確立は当然です。週末ご来場のゲストグリーンフィーは4万円程です。

「小金井カントリー倶楽部でゴルフをお楽しみいただく前に」を読みますとプレーヤーの年齢にもレギュレーションがありました。男性は35歳未満、女性は20歳未満は入場できませんとありますが？

親善対抗競技を行うなど、情報共有して相互の向上を図っています。

戦中戦後の激動期に40余の国内コースが姿を消す中で、戦前産まれの倶楽部の中では後発とはいえ、小金井カントリー倶楽部は生き抜き、風雪に耐え、今や名門としての地位を確たるものにしていく。

小金井カントリー倶楽部には3つの大きな魅力があると伺っていますが？

先ず第一に、小金井CCの位置する武蔵野は都心からも近くでありながら、豊かな自然を堪能し味わうことができます。この武蔵野の地に15万坪の敷地面積を擁し1988年には隣接する小金井公園を併せた約36万坪を『小金井鳥獣保護区』に設定されました。倶楽部内の樹木の種類は56種に及び、鳥類はコゲラをはじめ、メジロ、など40種類以上が確認され、蝶類は35種類に上ります。



メジロ

コゲラ

都市部でありながら、生物の多様性を涵養する豊かな緑を持つっており、同時にまたこの自然の地形を十二分に生かし、変化に富んだコースは多くのプレーヤーを魅了する。

会員の有資格は当倶楽部の会則により35歳以上の男子と謳われています。また会員は個人会員に限定されています。プレーにつきましてはその限りでなく、20歳以上の会員のご家族（二親等内）で有ればプレーは可能です。女性の皆様には改装に伴い、設備関連はロッカー、浴槽、化粧室などそれぞれ付き、旧クラブハウスの4倍以上のスペースが確保されたことからホテル以上と好評を得ています。ドレスコード・マナーコードも時代の変化に応じてフェローシップ委員会によって策定され、メンバーもゲストも堅苦しい規則に縛られない半面、品性を保ちながらゴルフを楽しむという原点に帰しています。メンバーは上手下手を気にせず誰の組に入られても遠慮気兼ねなくプレー出来ます。いわゆる19番ホールでは悠々とゴルフを楽しむ人生の達人方々と語らえる豊かさは倶楽部ライフの「コマ」です。



テラス

コースにつきましては、戦略性もとより「緑あふれる綺麗なコース作り」を積極的に推進し、「光」と「風」の入りやすい明々さを心掛けております。これからもコースの風格、美観の向上に力を入れて参ります。なおコース・レートは72・2と権威ある第級機関の評価を得て、このことは3つの魅力としてプレーヤーとコースを一緒に暮らすキャディへの信頼度・満足度も群を抜いている。

「ゴルフはメンタルなスポーツです。私達キャディのおもてなし心遣いひとつが、お客様のその日一日のプレーを快適にも不快にもしてしまうことを、今一度思い起こして下さい」これは当倶楽部のキャディ向け100ページに及ぶマニュアルの冒頭に記されています。キャディを班に分け教育を体系的に実施しています。倶楽部内の樹木の名前から、施設内のあらゆる知識と適切なご案内をお客様に届けられるか、サービスの質に応じた評価制度を実施しています。天候が悪いときはお客様ごとに濡れた衣類脱衣用の籠を用意し、ハーフ後に衣を乾燥、折り畳み戻してお渡しするなど、快適にプレー頂けるように心掛けています。

不断の教育指導は着実に成果を生み、かつて「週間ゴルフダイジェスト」では「世界のコース専属、ハウスキャディの中で最もレベル高きキャディが出来

会員の大家族にとっては却って会員資格を得る35歳までに「小金井倶楽部ライフ」になじむための勉強期間として与えられた有意義な期間とも言える。

名誉ある歴史を振り返り、さらに次のより良き小金井カントリー倶楽部の発展のために私達は努力を惜しみません。お客様が当倶楽部に到着し、滞在しているあいだ十分に満喫頂き、笑顔でお帰りくださることが、小金井カントリー倶楽部のスタンダードです。

中長期的には人口減少が進みゴルフ人口の拡大は現実的には厳しく、ゴルフ需要を支えてきた団塊世代のゴルフ頻度の低下も否めない。しかしながら一方で2020年の東京オリンピックでもゴルフが競技種目として採用され、日本人選手の活躍が期待される明るい話題も少なくない。小金井カントリー倶楽部へようこそ！



小金井カントリー倶楽部

〒187-0012 東京都小平市御幸町 331
TEL.042-381-1221 FAX.042-384-9596

<http://koganeicc.jp>

ベトナムの変遷20年、 外国人技能実習制度の変遷10年。

「ライター」協同組合経営情報サービス 国際事業部 山口 昌孝



ゴールドトライアングル[1997]



日本語学校の学生[1997]



古都フエ[1997]



からチェンマイ、チェンライへと北上し、タイ、ミャンマー、ラオスの3国が接するゴールド

★ 20年前のベトナム

私がベトナムを初めて訪問してからおよそ20年が経つ。時は1997年11月。24歳だった私は9月から東南アジアへ放浪の旅に出た。当時、日本の景気はどん底で、私は大学卒業後、まともな会社に就職できずにいた。そんな中、すぐに就職することは諦め、自分の世界観を変え、海外に出たいと思い、初めに降り立った地がタイの首都バンコク、そこからチェンマイ、チェンライへと北上し、タイ、ミャンマー、ラオスの3国が接するゴールド

トライアングルから、陸路でラオスに渡り、乗り合いバスでベトナムに上陸。当時は道路が整備されていなかったため、バスを乗り継ぎ、2泊3日かかった。バスはエアコンがなく、数回の休憩中はシャワーも浴びられず、かかったのは約60時間。何とか辿り着いたベトナム。まずは中心地を目指そうと向かったのが、南ベトナムの中心地、ホーチミンだった。



ベトナムを象徴する写真。
※但し現在はヘルメット着用が義務付けられています。

当時人気を博したミュージシャン「CHAGE & ASKA」、そのASKA氏が「ID」という曲を書いている。「この景色は匿名希望の人達であふれ〜」初めて踏み入れたベトナムは、人相の悪い人々、決して衛生状態の良い国とは言えなかった。1975年にベトナム戦争が終結して20年以上経っていたが、枯葉剤の影響からか、手足が十分ではない親子が路上にいて、お金をせびられる…。街中で歩いているだけで服を引っ張られ、物を売りつけられる…。同じ東南アジア、同じ暑い国だが、人々の執着心はタイとは明らかに違った。そんな中、

私はこの国を1ヶ月かけて陸路で縦断しようと決心した。

ベトナムへ行くと、今でこそ日本人を快く迎え入れてくれるのだが、当時は全く違った。とにかく皆生き



ベトナムの日本食店。
店内の装飾が独創的です。

ホィアン、ダナン、フエに着き、そこから寝台列車で一気にハノイまで行き着いた。そこで今のベトナムでの日本語学習の原点となる、寺子屋のような風景を目の当たりにする。

★ 日本語学校

今こそベトナムで日本語学習は盛んに行われているが、当時はハノイでも私が知る限り数箇所しかなかった。日本語が話せるベトナム人も少なく、日本語検定などという資格も聞いたことがなかった。教室内は40〜50名。満席で薄暗く、照明が少ない。教壇に立つ先生の日本語もどこかおかしげで、私が教室に入るや否や、教壇に立つ日本語で挨拶して欲しいという…要は先生も日本語に自信がないということかもしれないが、たまたま訪問した学校で、挨拶だけのつもりが、そのまま模擬レッスンをさせられることに…。当時私は時間に余裕があったので、この日から1週間学校に通い、模擬レッスンをを行うことになった。

ベトナムに上陸して3週間が過ぎ、私は陸路でホーチミン、ダラット、ニャチャン、

当時私が話した日本語学校は、ベトナムでも有数のレベルの高いエリート学生ばかり。夕方から晩にかけての開講、通訳志望、エンジニア志望のクラスで、当時はまだ研修生向けのクラスはなかった。

★ 10年前の技能実習生

それから約10年経った2008年、それまではベトナムとは縁遠い仕事をしてきたが、ベトナム関連のビジネスに携わるチャンスを得た。しかしそのタイミングは悪く、景気が回復していた



7〜8年前まではベトナムでも黒板で授業をしていました。

日本は、再びリーマンショックといつどん底期を迎える。この時から技能実習生受入れのビジネスに携わり現在に至るが、2008年当時の日本語学校は、1997年当時と比べると、はるかに日本語教育の質も上がり、学生、学校の数も増え、先生のレベルも上がっていた。

ベトナム国

民の生活水準も随分変わった。市内は自転車が増え、バイクが増え、タクシーも登場していた。この頃になるといわゆる富裕層の存在も確認でき、高級住宅地、高級ホテルの建設など、生活水準も変わったことが垣間見れた。



ベトナム航空の日本就航便は年々増え続けています。

2008年当時はまだ「技能実習ビザ」ではなく「研修ビザ」であった。当時はまだ外国人研修制度の名称で、制度上のルールが確立がなされていなかった。研修内容をめぐるトラブルもあったが、研修生個々の向上心は高かったように感じる。日本に来る研修生の大半は中国人であったため、日本に行けるベトナム人は

テルウェル西日本がトータルサポート!

多くの建物管理を手掛けるテルウェル西日本では、情報通信の各種サービスを統合的に組み合わせたビルソリューションをご提供いたします。

ビルまるごと、安心で快適なマネジメントを実現します!

クリーニング

建物の美観や建物内を清潔に保ち、快適性を向上

フロア清掃	ガラス清掃
エアコン清掃	貯水槽清掃
剪定・伐採 除草	害虫防除

建物セキュリティサービス

不審者の侵入やデータの持ち出しなどから建物を守る

入退室管理システム	有人・機械警備
監視カメラシステム	鍵管理システム

災害プランニング

万一の災害時にも安心のさまざまな対策をご用意

外壁・屋上点検	法定点検
修繕 リフォーム	備蓄品 消火器など
太陽光・蓄電池	

オフィスソリューションサービス

お客さまのビル運営をテルウェル西日本がトータルサポート

什器 オートリース	移転 レイアウト変更
ビル管理 アウトソーシング	食堂・売店
LED	BEMS

業務アウトソーシング

お客様が抱える経営課題をテルウェル西日本がトータルサポート

給与・経理業務その他一般アウトソーシング

ベトナム技能実習生の今

それから10年後の現在2018年、ベトナムは更に豊かになった。富裕層が増え、スマートフォンを手にする若者達。SNSが発達し、FACEBOOKで外食、結婚式旅行などを投稿し、生活の豊かさをアピールする。ホワイトカラーが増え、オフィスは空調が整い、デザインも洗練されている。ホーチミン、ハノイなど

の、マナーは十分に教育されていなかったため、生活面で様々な問題が起きた。特に万引きやキセルといった軽犯罪が多かった。日本の店内は従業員が少なく、店頭で商品を並べられていたことも多く、そういった少額の商品が万引きの対象になることが多かった。当時のベトナム人研修生は、しかしそれでも純粋無垢な人が多かった。時々トラブルがあったのは、教育が十分ではなかったからだと言える。



ゴミの出し方はマナー教育の重要なポイント

国の代表という意識も少なからずあったはずである。しかし当時のベトナム人はハングリー精神が高いも



現在はプロジェクターを使った授業も増えています。

の大会では通勤時の大渋滞、路上駐車が増え、車の合間をぬってバイクが交差する。タクシードライバーも精巧さが増した。デパート、コンビニが増え、20年前のような買物の交渉も少なくなった。

最近入国してくる技能実習生のほとんどは、自分のスマートフォンやノートパソコンを持参し、入国してくる。入国後、まずはWiFiスポットを探す。家族、知人への連絡が伴っている。会社の寮にWiFi接続は必須で、これがなければ技能実習生から不満が出る。SNSが発達し、技能実習生は容易に近隣のベトナム人と交流することが

改めて今、私はベトナム人に対し落胆していることを自覚する。1997年当時のベトナム人技能実習生をむやみに増やして良いのだろうか!?



2018年1月27日サッカーU-23アジア選手権の決勝の応援は、ベトナム全土で大変な盛り上がり。試合中、会社、飲食店の多くは休業だった。

できるようなになった。GOOGLE MAPなどの精度があがり、日本語があまりできなくても電車、バスの移動が容易にできるようになった。日本が観光立国を目指すことにも通じているので、交通手段を便利にすることを妨げることは出来ない。しかし日本国内のベトナム人口が増えれば増えるほど犯罪やトラブルが多発する。巷ではFACEBOOKで失踪者向けのページが複数あり、全国各地で違法就労の募集がされている。会員制で、在留カードの写真を送らないと内容は見られないらしいが、場所、日時を指定し、最小限の荷物で来て下さいといった内容だそう。お試し制度もあり、さながら日雇いの労働のようであり、集合住宅を準備している業者もあるらしい。お試し後、従来の実習先から離れ、日雇いが本業に変わる。これが今、問題となっている「失踪」である。SNS上でベトナム「コミュニティ」が乱立する今、これからもベトナム人技能実習生をむやみに増やして良いのだろうか!?

2017年11月に技能実習制度が大幅に改定された。外国人技能実習機構が設立され、「外国人の技能実習の適正な実施及び技能実習の保護に関する法律」が施行され、今後は受入れ側に厳格なチェックが課せられる。非製造業への「介護」などに代表される非製造業への業種拡大が、今後も続くと思われる。本制度が果たして10年後も、それ以降も続けられるのか：全ては現地で送り出し機関と日本の監理団体の力量にかかっていると見える。

ベトナムは、金銭的には貧しかったが、生きることには真摯だったはずだ。これから益々豊かになるベトナム。日本との国交も良好なベトナム。その国から技能実習生をこれからも受け入れ続けるためには、日本で技能実習することの真意をもっと教育していかなければ、技能実習生のレベルの低下を防ぐことができない現実がある。

kobori 研 築 工 房

SXL ARCHITECTURAL DESIGN

本物を知る人へ。
住まいに
最上のくつろぎと感動を。



CROSSOVER DESIGN
GATES

kobori 研築工房 千里ギャラリー〈GATES〉



企業建築家を中心とする建築のプロフェッショナル集団「kobori研築工房」。
クライアントにとって最高の住まいを創るために、
ライフスタイルや価値観に触れ、潜在意識に潜む理想を探る。
空間の構成、外観デザイン、インテリアから素材や工法に至るまで、
制約に捉われず自由な発想を自在に積み上げる住まいづくり。
その人、その場所に相応しい、世界でただ一つの「本物」を求めて、
「kobori研築工房」がデザイン・設計力で
オンリーワンの住まいをご提案します。

企業建築家とつくる、オンリーワンの住まい。



SXL
ヤマダ・エスバイエル ホーム

kobori 研築工房 千里ギャラリー〈GATES〉

TEL.06-4864-4801 〒565-0826 大阪府吹田市千里万博公園1-7
ABCハウジング千里住宅公園内55

kobori 研築工房ウェブサイト
<http://www.sxl.co.jp/kobori/>

